

4 月 4 日(木曜日) 杉・檜の林に道を作ろう

【参加者;池本、越智宏、梶川、杉、鈴木哲、鈴木明、中、山本

8名】



里山づくりの一環として、モリメイトフィールド奥にある長年手つかずの杉・檜の林を整備している。林全体を整備するために、林の中を通り抜ける道を作ることにした。林の整備をするための道ではあるが、来園する人たちにも木の香りが広がる静穏な林の中を散策して喜んでもらいたいと考えている。

まず、林をぐるっととりまく道の整備を行った。人が通らなくなったために生え放題になっていた笹を刈り、散乱していた枝葉を取り除いた。歩きやすい道になり、少しずつ昔の道がよみがえってきた。道の整備を進めていく途中で倒木が木と木の間にかかり、今にも落ちてきそうになっていたの、とりあえずその木を伐ることにした。伐倒する者の上に木が落ちてくる危険性のある難しい伐倒であったが無事チェーンソーで伐り、片付けることができた。

林の中を通る道にも取りかかった。比較的木が少なく、歩きやすい最適なルートを探し、どこに道を作るのがいいのか考えた。ルートが決まったところに線を引き、そこに散乱している枝葉を取り除いた。周辺に除伐しておいてあった木を片付けて、道の整備はここまでとした。

午後からは、カブトムシの森周辺に除伐し置いてあった枯れマツの丸太を職員駐車場まで運んだ。



4 月 11 日(木曜日) 先週に続き道づくりと周辺の整備

【参加者:池本、越智宏、杉、鈴木哲、鈴木明、中、濱田

7名】

先週に引き続き、林の中を通る道を作っていた。杉、檜の林に入るところに通っている溝を渡るための階段を作ることにした。間伐して皮をむいておいた太い丸太を階段に、細めの丸太は皮をむいて杭にして使った。丸太と丸太の間に土を入れ、踏み固めて完成。

次は、林の中の坂道になっているところに幅の広い歩きやすい階段を作ることにした。根っこを格闘しながら穴を掘って丸太を置き、杭で止めていった。土を削り土を足し階段を平らにして12段の階段が出来上がった。道の両側の笹や草を刈り、散らばっている枝葉を取り除いた。続きはまた来週。同時に杉・檜の林から鉄塔に至る散策路の朽ちた木を伐倒し、笹刈りも行った。

昼食は、陽だまりの丘で満開の桜を愛でながらの弁当。春風を感じ小鳥のさえずりを聞きながら、のどかな時間を過ごした。



4月18日(木曜日) 林の中の道づくり着々と進む

【参加者;池本、越智宏、梶川、杉、鈴木哲、鈴木明、中、山本 計8名】



林を通り抜ける道づくりは着々と進んでいる。先週作った階段をより歩きやすくするためにさらに踏み固めた。道の周辺にある残材の整理と枯れ木の除去、切り株を地面と同じ高さまで切りそろえるなどの作業を行った。

林からハルリンドウの小径へ出る道も荒れ放題になっていたため、まず草を刈っていった。何とか通れるようになったのでこれからさらに整備をしていきたい。

コバノミツバツツジ、ヤマザクラが新緑のグラデーションの中に溶け込み、モリメイトフィールドは今生き生きとした季節を迎えている。ハルリンドウの自生地も年々広がりかわいい花を咲かせている。



4月25日(木曜日) 心地よい林にあと少し

【参加者;池本、越智宏、梶川、木谷、鈴木哲、鈴木明、山本 計7名】

朝いちばんに、公園から依頼されて除伐予定の枯れマツ2本（ロータリーから北の方に入っていたところにある）の下見をしてどのように伐ればいいのかを話し合った。その後、竹林の整備を行った。

午後からは、先週に引き続き、杉・檜の林の道づくりと整備を行った。下っていく道で一か所急なところがあったので丸太と杭を用意し、階段を作った。斜めになり倒れそうになっている木の除伐、笹刈りなどの作業を行った。道づくりと周辺を整備することで、林の中に木漏れ日が入り、風が通り抜け、鳥のさえずりや木々の香りも心地よい林になってきた。

道は完成したが、林の整備はまだまだ続けていく必要がある。



モリメイト会議

- ・2023年度モリメイト会計報告
- ・、緑化推進協議会の助成金を受け、本年度も昨年度と同じく「くぬぎの森づくり」「落ち葉掻きをして腐葉土を作りカブトムシを育てよう」「シイタケの菌打ち体験」の3つのイベントを実施していく
- ・モリメイト掲示板の活用方法について
- ・除伐したハンノキを利用してヒラタケやナメタケを栽培してはどうか等について話し合った